

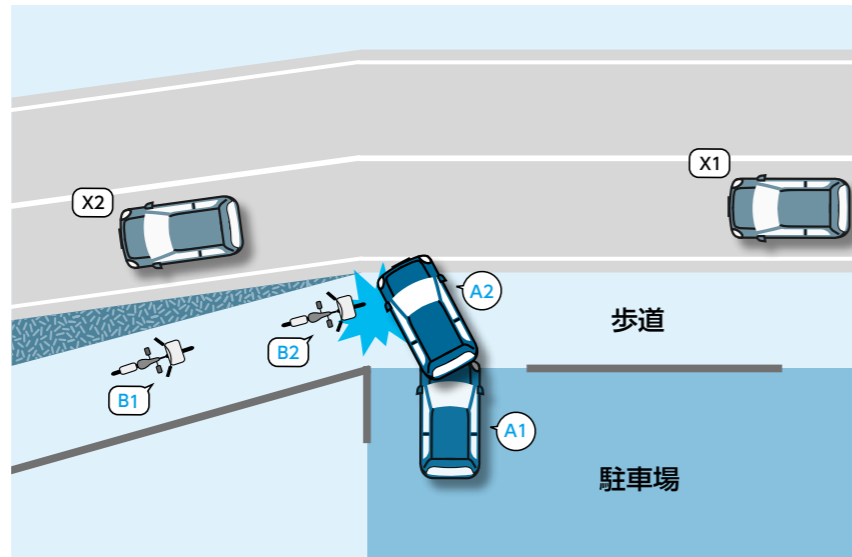
5分でわかる自動車事故事例 No.1

駐車場から出てきた普通乗用車と歩道走行の中学生自転車事故

歩道の手前では必ず一時停止をし、左右を十分に確認しましょう！

事例プロフィール

事故類型：出会い頭
発生日時：5月午後4時頃晴れ



事故の概要

Aさんの心理

Aさんは、時々利用する駐車場から一般道に左折で入るために左右の確認をしたところ、右に乗用車が見えたので、少し歩道にはみ出して一旦停止しました。左方にいたBさんは、ブロック塀の陰になり見えませんでした。

乗用車が通過したので、左方はさっき確認したという思い込みのため再度の確認をせず発進し、左側の歩道を走ってきたBさんと衝突してしまいました。

Bさんの心理

Bさんは、毎日通行する歩道を走行中、右にAさんの車を発見しました。Aさんが減速し、停止したので、相手もこちらに気付いていると思い込んでいました。Aさんの車の前を通過しようとしたところ、急にAさんが発進したので慌ててブレーキを掛けましたが、間に合わず衝突してしまいました。

事故から学ぶ

Aさんの注意点

Aさんは、左方向の安全を確認したつもりになり、発進直前に再度確認をしなかったことが、事故の原因です。

左折で合流する時は、どうしても右方向からの車に注意が行きがちですが、再度発進する前に、必ずもう一度左右を確認しましょう。

Bさんの自分を守るための注意点

Bさんは、自分から相手がよく見えているので、相手も自分に気付いているかと思いついていました。

ボンネットの約1m後ろの運転席にいるAさんからは、まだ左右の交差点（歩道）の状況が見えていない可能性があることを、Bさんも理解すべきでした。

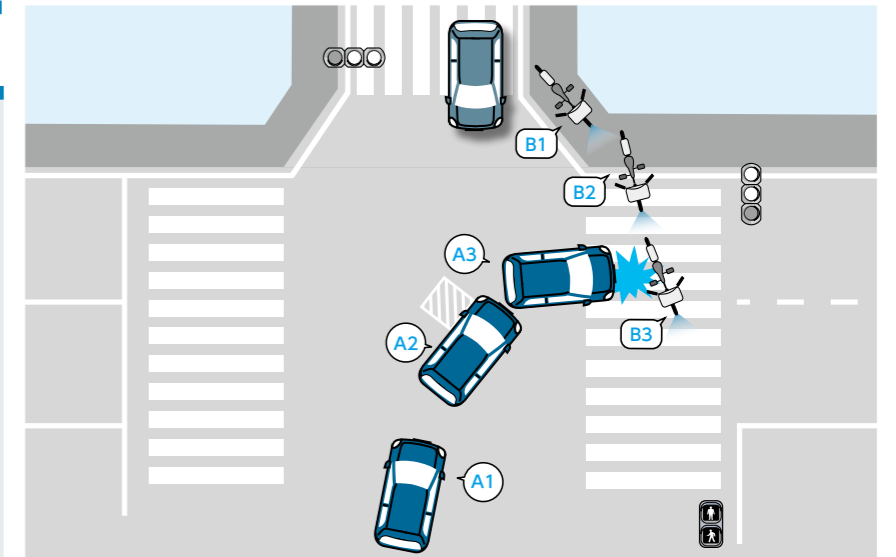
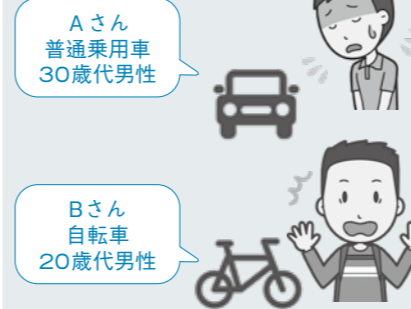
5分でわかる自動車事故事例 No.2

右折の普通乗用車と横断歩道横断中自転車の事故

交差点は事故多発地帯です！必ず多方面の危険を予知しましょう！

事例プロフィール

事故類型：出会い頭
発生日時：4月午後10時頃曇り



事故の概要

Aさんの心理

Aさんは、交差点を右折するため、青信号で交差点の中央まで進み、対向車をやり過ごすため停止しました。対向車が通り過ぎたので、青信号を確認して対向車線に注意しながら発進し、右折しました。

次に交差点出口の横断歩道の直前で、左から横断歩道を渡り始めたBさんの自転車に気づき、急ブレーキを掛けましたが、間に合わず衝突してしまいました。

Bさんの心理

Bさんは、暗いのでライトを点灯して交差点に接近し、青信号だったのでそのまま横断しようと考え、対向右折車のAさんの車を交差点の中央付近に発見しましたが、相手もこちらが見えているだろうと軽く考えてしまいました。

さらに、こちらは横断歩道上という優先意識もあり、そのまま横断歩道に進入し、衝突してしまいました。

事故から学ぶ

Aさんの注意点

信号交差点での右折は確認すべき対象が多い上、今回のように対向直進車をやり過ぎた事が、Aさんの油断を助長させたとも考えられます。

右折道路側の横断歩道を通過する際は、特に横断歩道の直前では徐行、停止するなどして左右の安全を確認しましょう。

Bさんの自分を守るための注意点

Bさんは、夜間であればなおさら、自分から相手が見えるからといって、必ずしも相手が自分を見ているとは限らないことを認識する必要があります。

また、交差点は事故多発場所であると認識し、安全な速度まで減速したうえで、相手や周辺の動向をよく見て通行することが大切です。

なお、自転車横断帯がなく横断歩道を通行する場合、歩行者の通行を妨げる恐れがある時は、自転車から降りて押して渡る必要があります。